

サロン2002 20周年記念シンポジウム

# Before2002 After2020

スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を目指して

2017.8.27(日) 14時

桐陰会館

(筑波大学附属中学・高校 敷地内)



## 第1部「この20年」を語る—サロン2002のあゆみとともに—

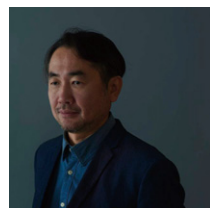
### ■ Jリーグ観客調査から見えるもの—「みるスポーツ」の20年



仲澤 真 (筑波大学体育系准教授)

スポーツの文化性やスポーツの公共性・公益性に配慮したスポーツマーケティング研究に取り組んでいる。日本サッカー協会、日本プロサッカーリーグ、日本ラグビーフットボール協会、日本体育協会等との共同研究を基盤に、研究フィールドは多岐にわたる。編著書に『現代スポーツのパースペクティブ』、『スポーツプロモーション論』、『スポーツイベントの展開と地域社会形成』など。

### ■ ファインダーから見えるもの—地域スポーツの20年



宇都宮 徹吉 (写真家・ノンフィクションライター)

東京藝術大学大学院美術研究科修了後、TV制作会社勤務を経て、97年にベオグラードで「写真家宣言」。以後、国内外で「文化としてのフットボール」をカメラで切り取る活動を展開中。著書に『ディナモ・フットボール』(みすず書房)、『股旅フットボール』(東邦出版)など。『フットボールの犬 欧羅巴1999-2009』(同)で第20回ミズノスポーツライター賞最優秀賞、『サッカーおくのほそ道』(カンゼン)で2016サッカー本大賞を受賞。近著『J2&J3漫遊記』(東邦出版)。2016年より宇都宮徹吉ウェブマガジン(WM)を配信。http://www.targma.jp/tetsumaga/

### ■ IT技術とスポーツの変遷—ネットメディアの20年



鈴木 崇正 (NECマネジメントパートナー・職シニアエキスパート)

1990年代中頃よりサッカー書籍を編集する一方、草創期のインターネットメディアでコンテンツを制作。1997~2006年、サッカー専門インターネットマガジン「Soccer Click」編集長。日本代表、ワールドカップ予選、欧州サッカーなどを題材に、書籍とWEBを横断するコンテンツを企画・制作。現在、NECの提案活動やブランディングに従事する傍ら、社会人スポーツ取材や、音楽誌への執筆など活動中。

### ■ 指導現場から見えるもの—「するスポーツ」の20年



中塚 義実 (筑波大学附属高校)

1987年の着任以来、同じ学校で保健体育科教諭・蹴球部顧問として高校生の指導に当たる。前身の「社・心グループ」時代からNPO法人化した現在に至るまで、サロン2002とともに歩みながら「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”」に取り組む。筑波大学蹴球部同窓会 茗友サッカークラブ理事長、全国高体連研究部活性化委員長、東京都サッカー協会フットサル委員会ユース部長など。

## 第2部「これから」を語る—2020年を越えて—

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックを主な題材として、“スポーツを通じたゆたかなくらしづくり”に向けた様々な取り組みについて語りあいます。

シンポジウム終了後に懇親会を予定しております。

主催：特定非営利活動法人サロン2002

日時：2017(平成29)年8月27日(日)  
14:00~17:00 (受付13:30~)

参加費：2,000円(ただし学生は無料)

※懇親会参加費は2,000円(学生1,000円)程度を予定

会場：桐陰会館

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1  
(筑波大学附属中学・高校 敷地内)

東京メトロ 有楽町線 護国寺駅 5番出口より徒歩8分  
東京メトロ 丸ノ内線 茗荷谷駅 より徒歩10分

参加申込：下記アドレスからご登録ください

<https://goo.gl/z6m3B8>



 SALON2002

事務局：salon2002.info@gmail.com (担当：遠山)

## 理事長よりご挨拶

特定非営利活動法人サロン2002は、スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”とするNPOです。2002FIFAワールドカップの前からはじまる私たちの活動は、今年で20年を迎えます。それを記念して、サロンがあゆんだ20年を取り上げ、日本スポーツの現代史と「これから」について語る公開シンポジウムを開催します。

2019ラグビー・ワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックと、この先に大きなイベントが続きます。2002年のときもそうでしたが、私たちの関心は、2020の先に何を残すかにあります。本シンポジウムの第1部では、Jリーグ発足を契機とする日本スポーツの構造改革、インターネットの普及に象徴される社会環境の変化、そしてグローバル化とローカル化などを切り口として「この20年」の変化を振り返ります。そして第2部で、2019ラグビー・ワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックを中心に「これから」につながるさまざまな実践を取り上げます。

シンポジウム終了後は同会場で懇親会を企画しています。さまざまな立場の方が集い、立場を越えて交流を深める場となることを願っています。「この20年」を振り返りつつ、夏のひとときを多くの方と、夢のある話で過ごせることを願っています。

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚義実

## 特定非営利活動法人サロン2002とは

特定非営利活動法人サロン2002は、スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”とするNPOです。

全国各地にいる約100名のメンバーは、学校関係者、スポーツ指導者やトレーナー、スポーツクラブの運営に携わる方、フットサルや草サッカーの関係者、メディア関係者、サポーターやボランティア、スポーツ行政に携わる方や競技団体関係者、医者や弁護士、アーティストなど多種多様です。さまざまな角度からスポーツに携わり、“志”の実現に向けて活動する者で構成されるのが「サロン2002」です。

NPO法人サロン2002の主たる活動は、2017年6月に通算250回となった月例会の開催と、その内容を軸とするホームページの運営です。本公開シンポジウムは2001年度よりほぼ毎年行われ、人と情報の行き交う場として定着しています。

詳細はホームページ(<http://www.salon2002.net>)をご覧ください。

### サロン2002公開シンポジウム

2001年度	FIFAコンフェデレーションズカップ総括
2002年度	FIFAワールドカップ総括
2003年度	地域で育てるこれからのスポーツ環境
2004年度	totoを活かそう!
2005年度	クラマーさん、ありがとう!
2006年度	2006年ドイツで感じたこと
2007年度	サッカー観戦を楽しもう! ースタジアム編
2008年度	地域からみたJリーグ百年構想
2009年度	2019年ラグビーワールドカップを語ろう!
2010年度	育成期のサッカーを語ろう!
2011年度	高校サッカー90年史を語ろう!
2012年度	U-18フットサルを語ろう!
2013年度	スポーツクラブの法人化を語ろう!
2015年度	スポーツで“ゆたかなくらし”を!
2016年度	日本サッカーのルーツを語ろう!

## サロン2002設立宣言

(2000年4月1日)

我々は、以下に「サロン2002の“歴史”」、「サロン2002の“志”」及び「サロン2002の“会員”」を述べることにより、ここにあらためてサロン2002の設立を宣言する。

### 【サロン2002の“歴史”】

サロン2002は、社会学、心理学等の専門的立場からサッカーの分析・研究・報告に従事していた「社・心グループ」(財団法人日本サッカー協会科学研究委員会の研究グループの一つで、1980年代後半からこの名称で活動)を前身とし、1997年からは研究者という枠にとらわれない、幅広い人材によって構成されるゆるやかな情報交流グループ「サロン2002」として活動を行ってきた。

### 【サロン2002の“志”】

サロン2002は、サッカー・スポーツを通して21世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを超えた幅広いネットワークを築き上げ、全国各地にサロン2002の“志”の輪を広げ、大きなムーブメントとなることを目指す。

サロン2002の“志”を実現する上で、2002年FIFAワールドカップ韓国/日本大会は大きな節目であると認識する。国内外の様々な人々と協力しながら、この世界的なイベントの“成功”に貢献するとともに、同大会後の“ゆたかなくらしづくり”のためにできることを考え、行動する。

### 【サロン2002の“会員”】

サロン2002は、前項の“志”を同じくする人たちのゆるやかなネットワークである。

サロン2002の“志”に賛同した個人であれば、誰でも、“会員”となることができる。ただし会員は、サロン2002からの“Take”を求めめるだけでなく、サロン2002に対して、また社会に対して何が“Give”できるかを常に考え、“Give and Take”の姿勢でいるということが前提である。

サロン2002は、会員に対して短期的な成果は求めない。長い目で見た“Give and Take”の関係が成り立っていればよい。即座のアウトプットが困難であっても、いずれ何らかの形で“Give”を考えている人なら“会員”となることができる。